

ATAPI内蔵型CD-R/RWユニット

ユーザズマニュアル

目次

LCW-B52AK

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	4
ご注意	4
第1章 ご使用の前に	5
1.1 本製品の特徴	5
1.2 各部の名称	7
第2章 接続について	8
2.1 接続の前に	8
2.2 本製品の接続	10
2.3 接続結果の確認	11
2.4 ライティングソフトウェアのインストール	12
第3章 補足事項	14
3.1 メディアのセット/取り出しについて	14
3.2 トラブルシューティング	16
3.3 Windows XP で直接書き込みを行う場合	17
3.4 使用環境について	18
3.5 その他	20
3.6 オプション品について	20
ハードウェア仕様	21

付属品の確認

CD-R/RWユニット	1台
「Software Pack」CD-ROM (以下のソフトウェア含む)	
WinCDR Lite	1式
取り付けネジ	4個
保証書/ユーザー登録カード	1枚
CD-R/RWユニット・ユーザズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。



取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
	注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かを注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

接続時には電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



分解 / 改造しないでください。

本製品は絶対に分解・改造しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



警告

内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。
万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



水場で使用しないでください。

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近く、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



濡れた手で触らないでください。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



本製品内部のレーザー光線を直視しないでください。

本製品はレーザー光線を使用して記録型メディアへの書き込み、読み込みを行います。この光線が直接目にあると視力障害を及ぼす恐れがありますので、本製品の起動中に内部を除いたり、分解した状態で電源を入れたりしないでください。



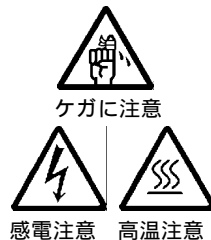
本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないでください。機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



注意

接続時、感電 / 火傷等に注意してください。

- ・パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
- ・電源OFF直後のパソコン本体内部には、高温の部分(CPUなど)があります。火傷しないように注意してください。
- ・パソコン本体内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



静電対策をしてください。

本製品およびパソコン本体には、静電気に弱い部品が使用されています。静電気のたまりやすいカーペットの上などに置かないでください。また、接続の前にパソコン本体の金属が露出している部分にふれて、体内の静電気を放電してから作業を行ってください。接続時、不要な部分には手を触れないでください。



その他の
強制事項

注意

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。



メディアの取扱いについて

本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等に従って正しい取扱いをしてください。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。



オーディオ CD を再生するときは

本製品を使用して、オーディオ CD を再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。



映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。本製品で変換 / 保存した映像や音楽作品は、個人的な環境で私的使用する場合以外、著作権者本人の許諾無く使用する事は、著作権法で固く禁じられています。違法なコピーは絶対に行わないでください。



ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は本製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROM ソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようにご注意ください。

弊社は、本製品の仕様がおお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での商標です。Pentium®、Celeron®は米国Intel社の商標です。WinCDR Liteは株式会社アプリックスの商標です。Superlink™は、MediaTek Incorporationの登録商標です。本書に記載されているパソコン本体の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

第 1 章

ご使用の前に

1 . 1 本製品の特徴

本製品は CD-R メディアへの最大 52 倍速書き込みに対応した内蔵型 CD-R/RW ユニットです。Ultra Speed タイプの CD-RW メディアにも対応し、最大 32 倍速での書き換えを行うこともできます。

- ・CD-R/CD-RWメディア書き込みの際のバッファアンダーランエラーを防止する SuperLink™ 機能を搭載していますので、高速書き込み時でも安定して書き込みを行います。
- ・CD-R/RW で使用頻度の高い「バックアップ機能」「ISO 9660 (データ) 書き込み」「オーディオ CD 書き込み」の機能を提供するアプリケーション社製のライティングソフトウェア「WinCDR Lite」を付属しています。「WinCDR Lite」はこれらの機能をクリックだけの簡単操作で使いこなすことのできるライティングソフトウェアです。
- ・Windows XP では「エクスプローラ上での書き込み」「Windows Media Player 上からの書き込み」に対応しています。「エクスプローラ上からの書き込み」では CD-R、CD-RW メディアに対してライティングソフトウェアを使用することなくファイルをコピーする感覚で、データ CD、オーディオ CD の書き込みが可能です。

対応する書き込み方式

「Disc at once」	量産CD-ROMのプレマスタ作成を行う場合などに使用します。
「Track at once」	追記書き込みを可能にします。
「Session at once」	付属ライティングソフトウェアで「Enhanced CD」のバックアップを行う場合等に使用します。
「Packet Write」	擬似的なランダムアクセスを可能にします。(本製品にはPacket Writeを使用するソフトウェアは付属していません。)

WinCDR Lite では、ISO9660 は「Track at once」、AudioCD は「Disc at once」と規格により書き込み方式が固定されます。

書き込み・読み込み速度について

本製品では各メディアに対して、以下の書き込み・読み込みが可能です。

書き込み	CD- R	52 倍速、48 倍速、40 倍速、32 倍速 24 倍速、16 倍速、8 倍速	
	CD- RW	Ultra Speed	32 倍速、24 倍速、20 倍速 16 倍速、10 倍速
		High Speed	12 倍速、10 倍速
		Muti Speed	4 倍速
読み込み	CD- ROM	最大52倍速	
	CD- R CD- RW	最大40倍速	

CD-RW メディアで32倍速、24倍速、20倍速、16倍速、10倍速での書き込みを行う場合はUltra Speed対応のメディアを、12倍速、10倍速での書き込みを行う場合はHigh Speed対応のメディアを必ずご使用ください。

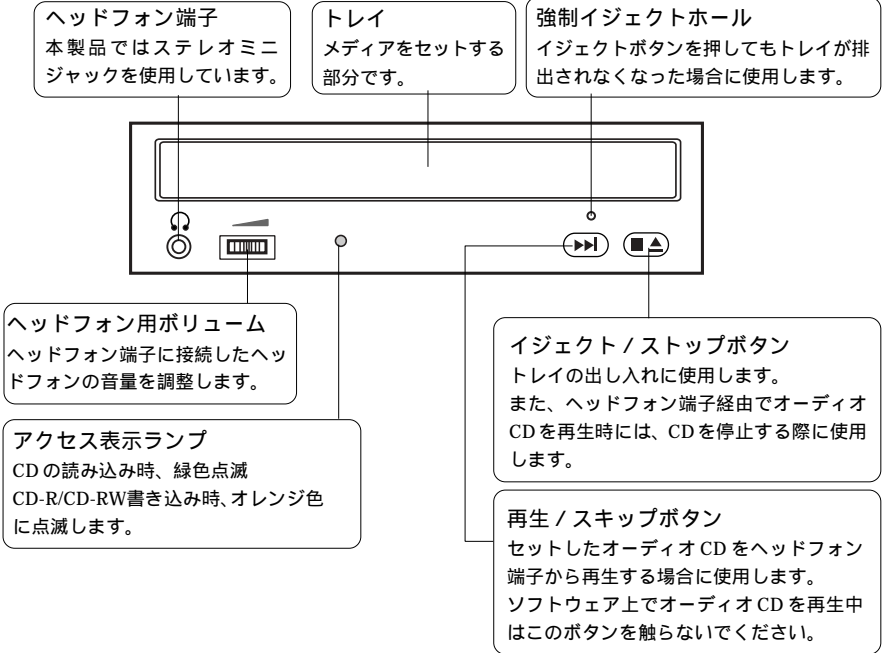
CD-R メディアで52倍速、48倍速書き込みを行う場合は、書き込み速度に対応したメディアをご使用ください。

特色

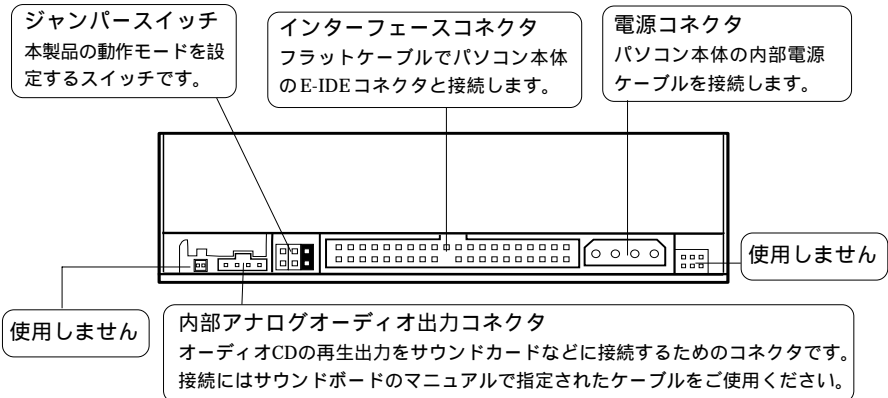
- CD-ROM : 読み込み専用のメディアです。パソコンのソフトウェアから音楽CDまで、幅広い用途で使用されています。
- CD-R : 一度だけ書き込みが可能なメディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- CD-RW : 約1,000回までの書き換えが可能なメディアです。

1.2 各部の名称

本製品前面



本製品背面



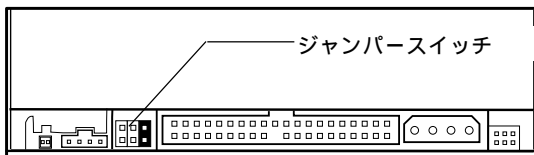
第2章 接続について

2.1 接続の前に

ジャンパースイッチの設定

本製品を接続する前に、背面のジャンパースイッチで本製品の動作モード(マスタ/スレーブ/ケーブルセレクト)を設定します。

動作モードの設定は下図のように背面のジャンパースイッチで行います。接続する環境にあわせてマスタ/スレーブ/ケーブルセレクトに設定してください。



本製品の場合、以下のようにジャンパープラグを配置することで「マスタ」「スレーブ」「ケーブルセレクト」の設定ができます。

	本製品のみを接続する場合、もしくは、2台接続でマスタとして使用する場合(出荷時設定)
	2台接続でスレーブとして使用する場合
	ケーブルセレクトで使用する場合(参考)

= ジャンパープラグをセットする位置

⚠️ ご注意

「ケーブルセレクト」は専用ケーブルを使用することによって、動作モードを自動設定する規格です。

「ケーブルセレクト」はパソコン本体がこの規格に対応していないと使用できません。そのため、パソコン本体のマニュアルで「ATAPI (E-IDE) 機器をケーブルセレクトに設定する」と指定されている場合のみ、この設定にしてください。

この設定を行った場合、専用ケーブルを別途用意する必要があります。

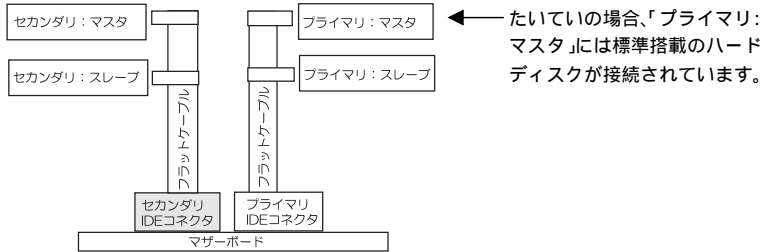


ジャンパースイッチの設定が分からない場合は...

一般のパソコンではマザーボードにプライマリとセカンダリの2つのATAPI (E-IDE) コネクタがあります。

それぞれのATAPI (E-IDE) コネクタには各2台のATAPI対応機器を接続できますが、どちらのコネクタに接続する場合でも、片方をマスタに設定し、もう片方をスレーブに設定しなければいけません。

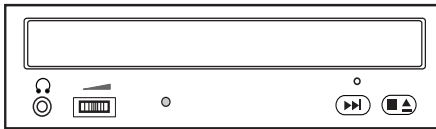
この設定を行うのがジャンパースイッチです。下の図とご使用のパソコンを見比べて、本製品を「マスタ」に接続するのか、「スレーブ」に接続するのをご確認ください。



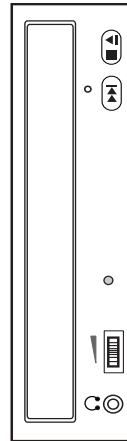
ジャンパースイッチの設定では接続先がプライマリであるか、セカンダリであるかは関係ありません。

設置方向の確認

本製品を5インチベイに内蔵する際には、本製品が以下のような方向になるようにしてください。逆方向に設置すると故障の原因になります。



水平方向の場合



垂直方向の場合

2.2 本製品の接続

ジャンパースイッチの設定が終わったら本製品をパソコンに接続します。



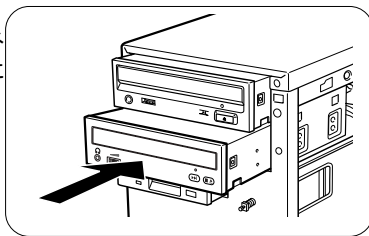
重要なご注意

接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源をOFFにして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。接続時に内部ショートが発生すると電源がONになる場合があります。感電や火災を防止するため、必ず電源コードをコンセントから外してください。

接続例

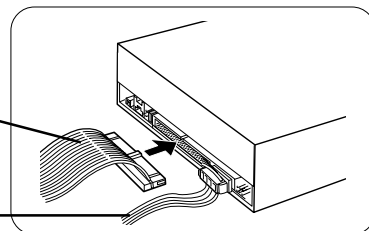
ここでご紹介するのは、あくまでも一例です。パソコンの種類によっては特殊な金具を必要とするものなどもありますので、接続に際してはご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

パソコンのサイドカバー、フロントパネル等を取り外し本製品を5インチベイに挿入します。



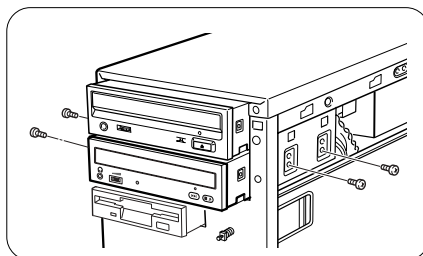
右図のようにコネクタ類の接続をします。その際、方向を確認してしっかりと接続してください。

フラットケーブルをインターフェイスコネクタに接続



内部電源ケーブルを電源コネクタに接続

本製品を完全に挿入して、付属のネジで固定します。ネジ止めの方法はパソコン本体によって異なりますが、多くの場合、横からとめます。接続が終了したら、パソコンのカバー等を取付けてください。



Point ポイント

- ・サウンドボードをお持ちの場合は、コネクタ類の接続時に、必要に応じて本製品の内部アナログオーディオ出力コネクタとサウンドボードの入力コネクタを接続してください。この接続を行うとオーディオCDをサウンドボード経由で再生することができます。接続にはサウンドボードのマニュアルで指定されたケーブルをご使用ください。(接続の詳細についてはサウンドボードのマニュアルをご参照ください。)
- ・フラットケーブルを接続する際に、プライマリのフラットケーブルに余っているコネクタがない場合や、セカンダリIDEコネクタにフラットケーブルが付属していない場合には、別売りのフラットケーブルをご使用ください。別売りフラットケーブルについては第3章「3.6 オプション品について」をご参照ください。

2.3 接続結果の確認

接続が終了したら以下の手順で、本製品が正しく認識されていることを確認してください。

パソコンの電源をONにしてWindowsのシステムを起動します。システム起動後、「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてください。以下のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。



Windows XPで表示されるアイコン



Windows Me, 98, 2000で表示されるアイコン

本製品が認識されていない場合は「3.2 トラブルシューティング」を参照して、チェックを行ってください。

2.4 ライティングソフトウェアのインストール

接続後、本製品はCD-ROMドライブ(リーダ)として使用することができます。ただし、まだソフトウェアがインストールされていないため、CD-R、CD-RWメディアへの書き込みはできません。

CD-R/RWユニットはソフトウェアを使用してデータの書き込みを行うためです。本製品で書き込みを行うために、以下の手順で付属の「WinCDR Lite」をインストールします。

「WinCDR Lite」のインストール

インストール方法

本製品付属の「SoftwarePack」CD-ROMをCD-ROMトレイにセットしてください。自動的にセットアップランチャーが起動しますので「WinCDR Lite」のボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



右の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。この後は画面の指示に従いインストールを実行してください。

このボタンをクリック



CD-ROMの自動挿入機能が有効になっていない場合は、上の画面が表示されません。その場合、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択して、名前の横のテキストボックスに「Q:¥start.exe」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。(「Q:」は「Software Pack」のCD-ROMがセットされたCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を入力してください。)

「WinCDR Lite」をインストール中に以下の「ユーザー名&シリアル番号の登録」画面が表示されます。ご使用のユーザー名および「WinCDR Lite」のシリアル番号を入力してください。ここではすべて半角英数字を使用してください。全角文字での入力は無効となります。

ユーザー名とシリアル番号
をそれぞれ入力します。



- ・ユーザー名は半角で8文字から32文字までの英数字で入力してください。
- ・ここで入力するシリアル番号は「WinCDR Lite」のシリアル番号（株式会社アブリックスのお客様登録カードに記載されたもの）です。本製品自体のシリアル番号ではありませんのでご注意ください。

WinCDR Lite のシリアル番号は、本製品に同梱されている「WinCDR Lite ライセンスカード」の下の欄に貼られたシールに記載されています。

使用方法について

「WinCDR Lite」のご使用方法は、インストール後以下の場所に保存されているPDF形式の「ユーザーガイド」をご参照ください。

「スタート」 「プログラム」 「WinCDR」 「WinCDR ユーザーガイド」

WinCDR Lite のユーザーガイドはPDFファイル形式でソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。PDF ファイルを参照するには「Acrobat Reader」が必要となります。ご使用のパソコンに「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、セットアップランチャーの「サポート」ボタンをクリックして表示される画面からインストールできます。

！ ご注意

メディアへの書き込みを行う場合、必ず本製品を接続してから、ライティングソフトウェアを起動してください。ライティングソフトウェアを起動後に本製品を接続すると、ライティングソフトウェア側から本製品が認識されない場合があります。

第3章 補足事項

3.1 メディアのセット/取り出しについて

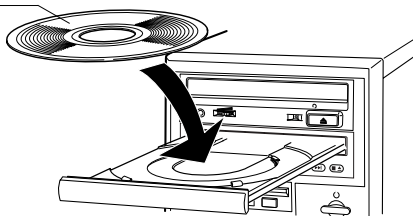
メディアのセット方法

本製品にメディアをセットするときは、パソコン本体の電源が入った状態でイジェクトボタンを押してください。トレイが排出されますので、メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。

イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。

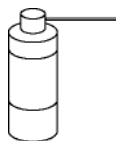
メディアを取り出す際も、同様の手順でトレイを排出するか、マイコンピュータ上から本製品のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」を実行してください。

タイトル面を上にします。



！ ご注意

- ・本製品はトレイ排出時、はじめに勢い良く排出され、半分くらい出た所からゆっくりになります。これは本製品の仕様です。故障ではありませんので、そのままご使用ください。
- ・メディアをセットしたまま本製品を内蔵したパソコンを移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、パソコンの電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。
- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。
- ・トレイの挿入、排出動作中は、絶対パソコン本体の電源を切らないでください。



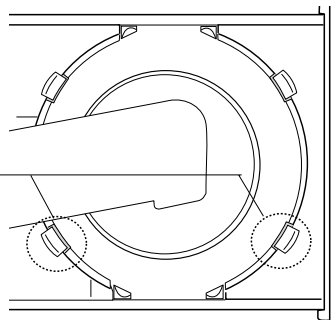
ダストクリーナ



縦置きで設置した場合のご注意

本製品を縦置きで設置した場合は、メディアをセットする際にトレイ下部の2カ所のツメでメディアを支えるようにしてください。

ツメ



縦方向で設置した場合、8cmディスクは全て使用できません。ご注意ください。

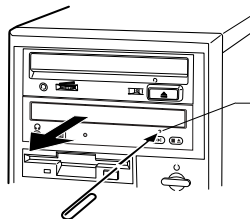
メディアが取り出せなくなった場合

何かの原因で本製品のイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなった場合は、まず本製品のアクセス表示ランプを確認してください。点滅していない場合には、一度システムを終了して、パソコン本体の電源を入れ直してみてください。

それでも状態が改善されない場合は、以下の手順でトレイを強制的に排出（強制イジェクト）することができます。これを行なうときには、必ずパソコン本体の電源をOFFにしてください。

大き目のクリップを伸ばしたものを強制イジェクトホールに差し込んで押ししてください。

トレイが2～3 cmほど排出されますので、静かに引き出してください。

強制イジェクト
ホール

ご注意

- ・パソコン本体の電源がONになっている状態では、絶対に強制イジェクトを行わないでください。
- ・Windows環境では、セットしたメディア内のファイルが開いている状態ではトレイを排出することができません。

3.2 トラブルシューティング

本製品を接続するとシステムが起動しない。

- ・本製品背面のジャンパースイッチで動作モード（マスタ/スレーブ/ケーブルセレクト）が正しく設定されているかどうかを確認してください。

本製品がCD-ROMドライブとして認識されない。

- ・フラットケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。
- ・内部電源ケーブルの接続に問題がないかどうか確認してください。
- ・「デバイスマネージャ」を起動して、「ハードディスクコントローラ」に「！」マークなどがついていないかどうかを確認してください。「デバイスマネージャ」を起動するには、Windows Me, 98の場合、「コントロールパネル」「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows XP, 2000の場合、「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

本製品が正常に認識されるとデバイスマネージャ上の「CD-ROM」または「DVD/CD-ROMドライブ」の下に「BTC BCE5232IM」と表示されます。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

- ・本製品背面のジャンパースイッチで動作モード（マスタ/スレーブ/ケーブルセレクト）が正しく設定されているかどうかを確認してください。
- ・ライティング・ソフトウェアは本製品付属のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

サスペンドモードから復帰できない。

- ・本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能はOFFにしてご使用ください。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

- ・「3.1 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

特定のCD-ROMにアクセスできない

- ・OSがサポートするフォーマット形式のメディアですか？Windows環境の場合、Macintosh用のCD-ROMはアクセスできません。

CD-R, CD-RWメディアの書き込み時にエラーが多発する。

- ・適切な使用環境で使用していますか？本製品の使用環境については、「3.4 使用環境について」をご参照ください。

その他：ホームページについて

- ・弊社、および株式会社アプリックスではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：http://www.logitec.co.jp/

株式会社アプリックス

ホームページアドレス：http://www.aplix.co.jp/cdr/

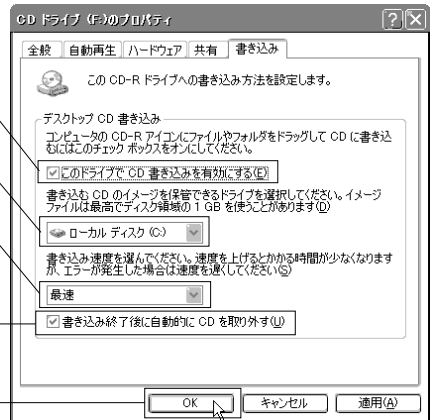
3.3 Windows XP で直接書き込みを行う場合

Windows XP で、ライティングソフトウェアを使用しないで直接 CD-R/RW へ書き込みを行う場合は、以下の手順で設定を確認してください。

コンピュータの管理者としてシステムにログオンし、「マイコンピュータ」から本製品のアイコンを右クリックして、表示されるプルダウンメニューから「プロパティ」をクリックします。

下のウィンドウが表示されますので、「このドライブで CD 書き込みを有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、「CD イメージの保管先」、「書き込み速度」を設定して「OK」ボタンをクリックしてください。

1. 「このドライブで CD 書き込みを有効にする」には必ずチェックを入れます。
2. CD イメージの保管先を指定します。
3. 書き込み速度を選択します。
4. 必要に応じてチェックを入れます。
5. 「OK」ボタンをクリックします。



以上で本製品側の設定は終了です。書き込み方法については Windows XP のヘルプをご参照ください。

3.4 使用環境について

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境(パソコン本体、メディアなど)の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

パソコン本体

本製品は各社のDOS/Vパソコン、およびNEC PC98-NXシリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

5インチベイとATAPI(E-IDE)インターフェースを持っていること。
Celeron® 300MHz以上のCPUを搭載していること。



ご注意

すべての機種で動作確認するのは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在する可能性があることはご承知おきください。

対応OS

本製品は以下のOSで使用することができます。全て日本語版に限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP HomeEdition/Professional

Windows Me

Windows 98 (SecondEdition 含む)

Windows 2000 Professional

Windows NT 4.0 WorkStation Service Pack 4以降

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< CD-R メディア >

52倍速/48倍速

太陽誘電(株)「That's」

三井化学(株)

三菱化学メディア(株)

48倍速以上に対応したメディアが必要です。

40倍速以下

太陽誘電(株)「That's」

三井化学(株)

三菱化学メディア(株)

(株)リコー

< CD-RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株) ()

32 倍速書き換えには三菱化学(株)のメディアをご使用ください。

メディアに関する注意事項

CD-R/CD-RWメディアには対応する書き込み速度があります。ライティングソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したCD-R/CD-RWメディアをご使用ください。

CD-RWメディアには

「Ultra Speed タイプ」

「High Speed タイプ」

「Multi Speed タイプ」

の3種類があります。ライティングソフトウェアから指定する書き込み速度により、使用できるメディアが異なりますので、その速度に対応したCD-RWメディアをご使用ください。詳細は7ページ「書き込み・読み込み速度について」をご参照ください。

ハードディスク

WinCDR Lite で CD バックアップ機能「ディスクをコピーする」を使用する場合、ハードディスク上にバックアップ元CDのイメージデータを展開する必要があります。

このハードディスクは以下のような仕様を満足するものでなければなりません。

空き容量：	800MB 以上
平均シークタイム：	13ms 以下
インターフェース：	FastSCSI/UltraSCSI、ATA (E-IDE)

Point ポイント

上記の用途に使用するハードディスクの中に多数のファイルが存在しファイルの断片化が起きていると、データ転送が間に合わなくなることがあります。既存のハードディスクを使用する場合は、データの最適化を行ってください。(この作業は、例えばWindows Me , 98 では「デフラグ」ユーティリティを使用して行います。)

可能であればハードディスク上に800MB程度の専用パーティションを作成し、そこには他のデータを保存しないようにすることを推奨します。

3.5 その他

CD-RWメディアの読み取り互換性について

CD-RWメディアは書き換え型のメディアであるため、一部に未対応の読み取り装置があります。弊社（ロジテック株式会社）から発売されている製品のうち、以下の製品ではCD-RWメディアを読み取ることができませんのでご注意ください。（最新機種に関する情報は弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。）

- ・ 20倍速以下のCD-ROMユニット
- ・ LCD-Z40AK
- ・ CD-ROM 6倍速以下のPD/CD-ROMユニット
- ・ LCW-7**、LCW-D7**、LCW-M7** で始まるCD-Rユニット
- ・ LCW-8**、LCW-D8** で始まるCD-Rユニット
- ・ LCW-1000

3



ご注意

他メーカーのCD-ROMドライブ、パソコン内蔵のCD-ROMドライブがCD-RWメディアに対応しているかどうかについては、各ドライブメーカー、またはパソコンメーカーにお問い合わせください。

3.6 オプション品について

本製品に接続可能な内部フラットケーブルは以下の型番で弊社より発売されています。

型番	形状	長さ
CB-F 40/66	ピンヘッダータイプ 40ピン × 3	0.4 m

UltraATA/66 対応 80 芯ケーブル使用

型番	形状	長さ
CB-F 40	ピンヘッダータイプ 40ピン × 3	0.4 m

UltraATA/66 以上の高速転送環境には使用できません。

オプション品は、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求め下さい。

ロジテックダイレクトホームページ : <http://www2.ld.logitech.co.jp/>

ハードウェア仕様

機種名		LCW - B52AK	
ドライブメーカー		BEHAVIOR TECH COMPUTER CORP. (BTC)	
設定可能な 書き込み速度 *1	CD - R	52 倍速、48 倍速、40 倍速、32 倍速 24 倍速、16 倍速、8 倍速	
	CD - RW	32倍速 / 24倍速 / 20倍速 / 16 倍速 12倍速 / 10倍速 / 4 倍速	
読み込み速度 *1	CD- ROM	最大 52 倍速	
	CD - R CD - RW	最大 40 倍速	
インターフェース		ATAPI (Ultra ATA / 33)	
コネクタ形状		ピンヘッダータイプ 40 ピン	
ローディング方式		トレイ方式	
ヘッドフォン出力		0.6 V	
バッファメモリ		2MB	
平均アクセスタイム		90 ms	
最大データ 転送速度 (IF)	UltraDMA モード2	同期 33.3 MB / s	
メディアとの最大データ転送速度		7800KB/ s	
環境条件 *2	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 70%
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	20% ~ 90%
入力電圧		DC 5V ± 5 % , DC 12V ± 10 %	
消費電力		15 W	
外形寸法	幅 × 高さ × 奥行き	148.6 × 41.8 × 193.3 mm *3	
質量		1.0 kg	
設置方向		水平 / 垂直	

*1 6 ページ「書き込み・読み込み速度について」参照

*2 ただし、結露なきこと

*3 横置き時、突起部を除く



古紙配合率100%再生紙を使用しています